



今年の延岡教会年間目標 「福音宣教に向けて心を尽くしましょう。」

四旬節を通して、神の愛の証であるイエスの死と復活を思い巡らしましょう！

2月17日の水曜日から、「灰の水曜日」を始まりとする四旬節に入ります。「灰の水曜日」から始まる四旬節は、今年は、復活徹夜祭前までの49日間を数えることとなります。

この四旬節の期間は、特にイエス・キリストの、わたしたちを贖うため業である受難を思い巡らし、わたしたちの生活の中において、イエス・キリストがわたしたちに注いでおられる愛とあらゆる恵みに対して自らの心を開く特別な時期と言えます。



四旬節の期間において、自分自身を吟味することとして、例えば

1. イエス・キリストから頂いている能力をいかしているだろうか？
2. 自分の生活の場において、イエス・キリストに対して相応しくないと思えることに打ち勝つ体験しているだろうか？
3. 小さな誘惑に対して克服できないような無力さに陥っていないだろうか？

など、思い巡らしては如何でしょうか。

わたしたちの救いのために自分を捨てて神の思いを実現されたイエス・キリストの姿を注視することによって、怠惰さに身を置い

ている自分自己を吟味する時期として過ごしてみても如何でしょうか！

いつもわたしたちと共におられることを、自らの言葉でわたしたちに告げ知らせてくださったイエス・キリストと共に生きることを追い求める中で、この四旬節中において、具体的な行動を意識的に行ってみることも、四旬節を過ごす戦略となると言えます。

具体的な行動として、

1. 断食
2. 回心(神さまから生かされていることに感謝する事によって生じる謙る姿勢)
3. 秘跡(聖体拝領、赦し)
4. 祈り

などを上げることが出来ます。



四旬節中、苦しむ僕としてあったイエス・キリストは、「・・強く雄々しくなるにはどうしたらよいかをおしえてくださいます」(マルコ福音書1章12～15)。

四旬節中の心構えと行動によるイエス・キリストとの交わりを深めることによって、「独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得る・・」(ヨハネ福音書3章16)という、復活の栄光につつまれる喜びを身に受けることとなるでしょう！

ミサの案内

主日のミサ	平日のミサ
18時30分～ 前晚ミサ（土曜日） 6時20分～ 主日ミサ （聖心ウルスラ修道院聖堂） 9時30分～ 主日ミサ	6時20分～ 聖心ウルスラ修道院聖堂にて

◎ 四旬節が始まります

2月17日（水）の「灰の水曜日」から四旬節が始まります。神の救いの業の中心となるイエス・キリストの受難と復活に思いをはせ、四旬節期間中に個人的に出来る範囲での犠牲（節制）やお祈りを、またイエス・キリストの愛の行いに倣って日々の生活を過ごして参りましょう！

◎ パウロ浜口末男司教様の追悼ミサの報告。

追悼ミサは、1月11日（月）午前11時より、司教座聖堂である大分カトリック教会において執り行われました。延岡カトリック教会信徒一同として、献花を致しました。



※浜口末男司教様のご遺骨を2月2日（火）～7日（日）まで祭壇前に安置致します。

お祈りをお願い致します。

◎ 今月の役員会 : 2月7日（日）ミサ後 信徒会館にて開催

勉強会の案内

◎ 聖書講座（山下 敦神父担当）：2月26日（金）19時 聖心ウルスラ修道院にて開催

◎ 求道者勉強会 : 土曜日 10時（司祭館にて）

◎ 勉強会（信徒対象）：水曜日 19時（司祭館にて）